

# 日本の廃棄物処理学ぶ

## 四日市市 ICETT 中南米行政官が研修



### 技術習得、環境保全へ

【四日市】四日市市桜町の国際環境技術移転センター（ICETT）は八日、中南米の行政官が廃棄物処理を学ぶ研修を本格的に開始し、県環境森林部の担当者が日本の環境法令などを紹介した。

中南米で問題となっている環境問題に対応するため、日本の技術やノウハウを学んでもらおうと、同センター国際協力機構（JICA）の委託を受けた事業で、今年で三年目。ポリビ

ア、コロンビア、ドミニカ共和国、エルサルバドルの四カ国から、地方や国の行政担当者七人が参加し、ごみを削減するために「住民

意識の啓発はどうしたらいいか」など、積極的に質問していた。七人は一日に来日。七月十五日まで同所を拠点に、県内や関西地方で病院や、スーパ―、ごみ処理場などを見学し、ごみの分別や、ごみ処理の過程などを学ぶ予定。（金子美穂）